

聖籠町総合計画審議会 第1部会（安心安全＋産業・観光）

第1回議事要旨

日 時	令和7年8月22日（金） 14時00分～16時00分
場 所	聖籠町役場3階 第2会議室
出席委員	鈴木委員（部会長）、手嶋委員、荒木委員、中村委員
欠席委員	入山委員、高橋委員
事務局	佐藤ふるさと整備課参事、天野農業委員会事務局次長、稲田上下水道課長補佐、大沼産業観光課長補佐、東港振興室 小林係長、吉田生活環境課長補佐
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>（1）Ⅰ 地域特性を活かしたまちづくり</p> <p>（2）Ⅱ 自然環境との共生</p> <p>（3）Ⅲ 生活環境の整備</p> <p>3 閉 会</p>
要 旨 （検討内容）	<p><b>議事(1)～(3)</b></p> <p>○ 事務局から第1章「Ⅰ 地域特性を活かしたまちづくり」～「Ⅲ 生活環境の整備」について説明 （説明者：佐藤参事、大沼課長補佐、吉田課長補佐、稲田課長補佐）</p> <p>～説明後の検討意見～</p> <p>○【Ⅰ 地域特性を活かしたまちづくり】</p> <p>『1 都市近郊型の土地利用』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後高齢者等の買物弱者が増加すると考えられるが、聖籠町の商業地面積をもっと広げる事はできないのか。</li> </ul> <p>→新潟都市計画に基づき、新潟市、新発田市、聖籠町で商業エリアの面積を割り振っているため、町単独で面積を広げることにはできない。ただ、業者から開発要望があれば、地区計画を定めることにより対応は可能と考えるが、業者からの相談が上がっていないのが現状である。</p> <p>○【Ⅱ 自然環境との共生】</p> <p>『1 海岸線環境下での共生』について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策目標のうち「海のレジャー・スポーツイベント参加者数」の算出方法がサーフィン大会来場者数となっているが、賑わいの指標としては判断しづらいのでは。別な指標も検討してみてもは。</li> </ul> <p>→開催実績が少ないが、来場者613人のうち59人が選手であり、その他は観客や同時開催したマルシェの参加者数である。今後開催を重ねる事で一定の指標となり得ると考える。</p>

- ・海のにぎわい館の活用はどのようになっているか。
- NPO 法人海レクサポートせいろうが受託者となって管理・運営を行っている。また、国の補助金等を活用し事業ができないか等の検討をしてもらっている。
- ・水洗化率を上げるために、補助事業等を行っているか。
- 暮らしの応援事業を活用して、浄化槽から下水道接続に切り替える家庭もある。

### ○【Ⅲ 生活環境の整備】

#### 『1 道路管理の適正化』について

- ・橋梁修繕率は低いようだが、この数値でいいのか。
- 法で5年に一度の点検が定められており、予算の範囲で適宜修繕等をおこなっているが、経年に伴い修繕箇所も増えるため、なかなか率が上がらない。

#### 『2 体系化された道路網の整備』について

- ・歩道整備率が上がっているのは、町民要望によるものか。
- 警察や教育委員会と合同点検を行い、通学路を対象に順次整備しており、その結果整備率が上がったもの。

#### 『3 公共輸送機関の充実』について

- ・町環境バスの利用者数がかかなり上がっているが、要因は。
- 新潟交通の路線バス廃止に伴う代替利用や、学生に配慮した効率的なダイヤの見直しによる影響かと思われる。
- ・現況値が目標を上回っているため、目標値を上げて良いのでは。
- 担当課で再度協議を行う。
- ・学生の通学時間に配慮されているかと思うが、高齢者についても買い物利用がしやすい時間に運行を集約しても良いのでは。
- 検討させていただく。

#### 『4 ごみ処理体制の充実』について

- ・不法投棄が多くなっているが、投棄しやすい環境（道路脇の野草繁茂箇所等）となっているのが問題なのではないかと感じる。
- ・海外の技能実習生が多くなっていることから、ごみの分別指導などを行った方がよいのではないか。
- 今後の課題とする。

#### 『5 環境保全対策の充実』について

- ・住宅に設置するソーラーパネルの補助等に行っていないのか。
- 現在は補助を行っていない。また、脱炭素に向けてゼロカーボンシティ宣言を行っているため、その旨も改めて記載していきたいと考える。

#### 『6 上水道の充実』について

- ・水道事業経営基盤の強化についても現況値が目標値を超えているが、現状維持ということでいいのか。また、敷設された水道管の改修は順次計画しているのか。

要 旨  
(検討内容)

→他市町村と比較し、高い水準となっているため、目標値は据え置く。また、敷設された水道管は、古いものから順次耐震化工事等を進めている。現在、藤寄の県道で実施しているものは、今後も水道ビジョン等に基づいて、順次工事を進める。

『7 下水道利用の促進』について

- ・特になし。

以上（次回は9月17日開催予定）